

電気工事が残っています。

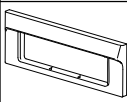
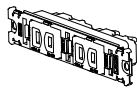
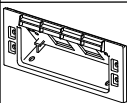
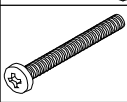
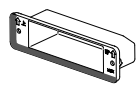
警告

⚠ 電気工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う。

注意

⚠ ●ねじは必ず手回しドライバーで取り付ける。
●必要以上に締めすぎない。

コンセントユニット(小箱)同梱部品

部品名	図	数量	部品名	図	数量	部品名	図	数量
フードカバー		1	プレート取付枠 (埋込扉付コンセント・ リード線付)		1	ガラス編込チューブ		1
本体 (パッキン付き)		1	トラス小ねじ M4×12 (プレート取付枠固定用)		2	引継ぎチラシ		1
バインド小ねじ M4×30 (本体固定用)		4	背面カバー (パッキン付き)		1	設置説明書		1
コードフック		2				取扱説明書		1

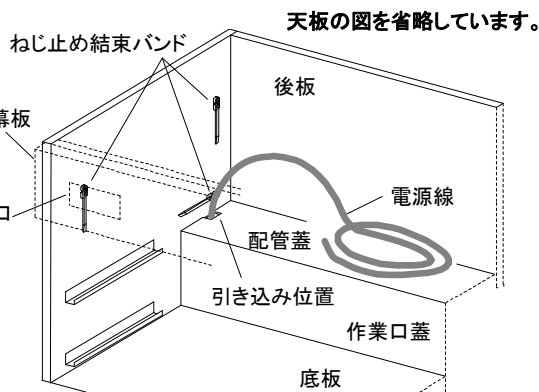
【1. 取付前の確認】

電源線が配管蓋の穴からキャビネット内に引き込まれていることを確認してください。
引き込まれていない場合は図を参考に電源線をキャビネット内に引き込みます。
電源線はVVF1.6またはVVF2.0に対応します。

注) 電源線の長さが配管蓋の穴を基準として
1.7m以上あることを確認ください。

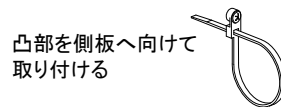
注) 電源線同士を接続する場合、接続部分をキャビネット内に設けないでください。
接続部分が引出しやシャワーホースと干渉する恐れがあります。

注) 引き込み位置の左右勝手は、幕板の開口(キッチンコンセント取付位置)と一致
します。
引き込み位置の左右勝手を変更しないでください。



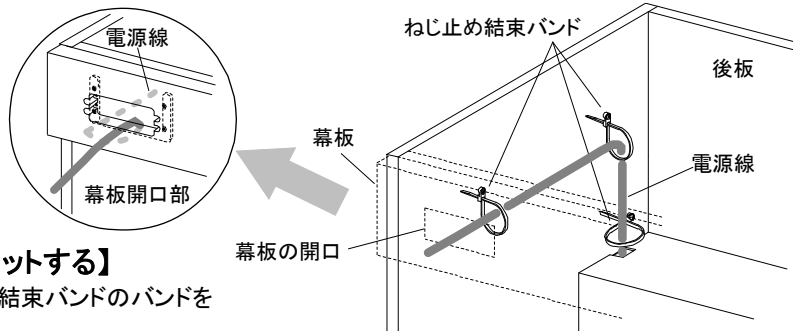
【2. ねじ止め結束バンドで輪を作る】

予め側板に固定されているねじ止め結束バンドで図を参考に輪を作ってください。
ねじ止め結束バンドを取り外して作業する場合は、取り付ける向きに注意してください。
ねじ止め結束バンド3個全て行ってください。



【3. 電源線を輪に通し、キャビネット内を引き回す】

電源線をねじ止め結束バンドの輪に通し、キャビネット内を引き回してください。
電源線先端は幕板の開口から引き出してください。

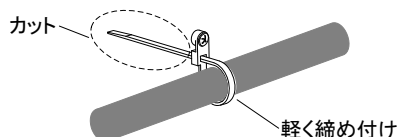


【4. ねじ止め結束バンドのバンドを締め、先端をカットする】

① 電源線のたるみが無いよう位置を調整した後、ねじ止め結束バンドのバンドを
締めてください。

② 余分なバンド先端をカットしてください。
ねじ止め結束バンド3個全て行ってください。

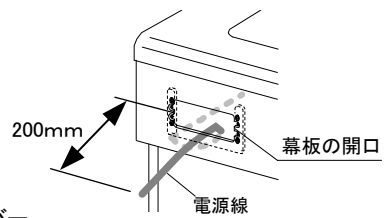
注) 電源線はたるみが無いように側板に沿って固定してください。
バンドは電源線の調整ができるように軽く締め付けてください。



【5. 電源線を幕板の開口から200mm引き出してカットする】

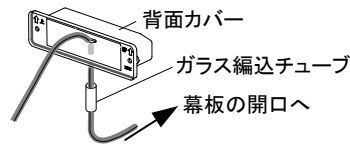
幕板の開口から引き出した電源線の長さを200mmとし、残りはカットしてください。

注) 引き出した200mmは結線作業時のスペースとなります。結線後は幕板の開口からキャビネット内に引き込みますので、長さを守ってください。長すぎると幕板の下に垂れ下がり、引出しと干渉します。



【6. 電源線にガラス編込チューブと背面カバーを通す】

電源線を結線する前に、予めガラス編込チューブと背面カバーを電源線に通してください。



【7. 電源線の末端を処理し、コンセントに結線する】

電源線の末端を処理し、コンセントに結線してください。

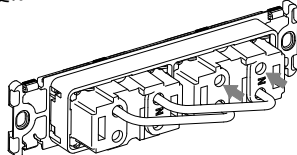
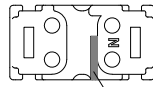
芯線・芯線被覆の寸法は図を参考にしてください。

注) 芯線被覆の長さは30mmまでにしてください。

芯線被覆が長いとガラス編込チューブから芯線被覆が露出してしまいます。

図を参考にN(接地側)が右に来るように持ち、矢印の位置に結線してください。

N(接地側)に白い電源線を結線してください。



注意

電源線は端子台の奥まで確実に差し込む
(軽く引っ張って、容易に抜けないことを確認する)



差し込みが不十分な場合、発火するおそれがあり、焼損や火災の原因となります。

注) N(接地側)が右になるように取り付けることで、コンセント上下が正しい状態となります。

【8. 背面カバー・コンセント・本体をねじ固定する】

① 予め通しておいたガラス編込チューブを背面カバーの穴部に移動します。

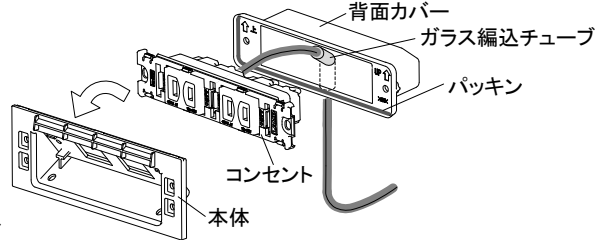
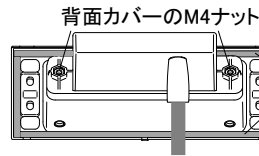
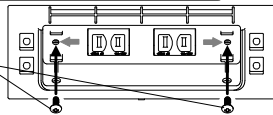
② 図の順番でコンセントと背面カバーを本体に被せます。

注) 背面カバーのパッキンを傷めないよう注意してください。

③ 被せた状態のまま、本体の表側からトラス小ねじM4×12(2本)で固定します。
(背面カバーのM4ナットに対してトラス小ねじを固定します)

注) 手回しドライバーを使用してください。

トラス小ねじM4×12(2本)

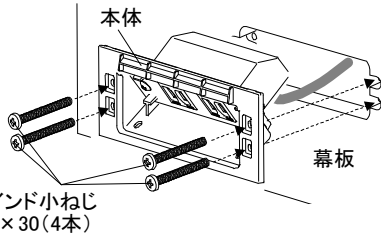


注) パッキンが付いていることを確認してください。

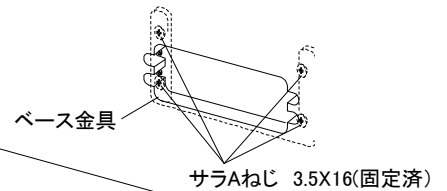
【9. 本体を幕板にねじ固定する】

本体をバインド小ねじM4×30(4本)で幕板に固定してください。

注) 手回しドライバーを使用してください。



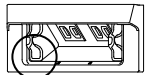
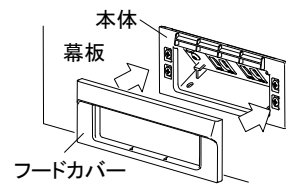
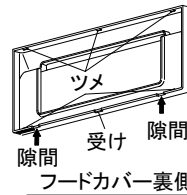
注) 予め幕板にはベース金具が固定されています。
(本体を固定するねじと種類が異なります)



【10. 本体にフードカバーを取り付ける】

フードカバー上下のツメ・受けを本体に嵌合させて固定します。
上のツメから固定します。

注) フードカバーを取り外す場合はフードカバー下面の隙間にマイナスドライバーを差し込んで外してください。

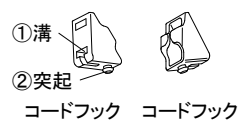
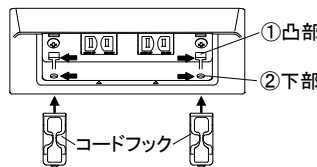


【11. 本体にコードフックを取り付ける】

① 本体の凸部にコードフックの溝を合わせて差込んでください。

② 本体下部の穴にコードフックの突起を押し込んでください。

注) コードフックの突起を本体下部の穴に差し込む際は、根元まで完全に嵌合させてください。



【12. 取り付け後の確認をする】

以下の項目を確認してください。

① 幕板と本体パッキンの間に隙間がないこと。

② コンセントユニットにがたつきがないこと。

③ 電源線にきずや無理な曲げがないこと。

④ コンセントに通電していること。

⑤ 電源線が幕板下面から下方へ出ていないこと。

下方へ出ている場合は電源線を折り曲げるなどして調整する。

